

年末年始における火災予防について

○ 乾燥期における火気・電気器具の使用と安全対策について

年末年始は、空気の乾燥とともに寒さが強まり、暖房器具等の使用といった出火条件が整いやすくなります。また、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で外出が減り、自宅で過ごす時間が増えることが予想されます。

ガスこんろやストーブなどの使用に際し、次の点に注意しましょう。

1 ガスこんろを使用する際はその場を離れないようにしましょう！

ガスこんろで揚げ物等をしている際の火災が多く発生しています。

調理中はその場を離れず、もし離れる際は、ガスこんろの火を確実に消しましょう。

防炎性のエプロンを使用するなど、着衣への着火に注意しましょう。

住宅用消火器やエアゾール式消火具を備えましょう。



2 ストーブは取扱説明書をよく読んで正しく使いましょう！

石油ストーブに灯油を給油するときは、必ず火を消してから行いましょう。また、外出の際には完全に消火していることを確認しましょう。

電気ストーブなどの電気を熱源とする器具を使わないときは、電源プラグを確実に抜きましょう。

ストーブの近くに布団や衣類など燃えやすいものを置かないようにしましょう。また、就寝の際にストーブを使用するのは避けましょう。



3 住宅用火災警報器を確実に設置しましょう！

寝ている間に発生した火災に気付かずに、逃げ遅れてしまう事例が多く発生しています。

特に、避難に時間がかかることが多い高齢者がおられる住宅には、「住宅用火災警報器」の確実な設置が重要となります。

設置後は、定期的な作動確認とお手入れを行いましょ

住警器設置で安全な暮らし



※ 総務省消防庁「年末年始における火災予防に係る注意喚起等について」([外部リンク](#))
「たばこ火災被害の低減対策」([外部リンク](#))

この記事に関するお問い合わせ先

比企広域消防本部予防課 TEL 0493-23-2268 / Email yobo119@hiki-saitama.jp